



会津大学 後援会だより

第41号

発行：会津大学後援会(事務局 学生部学生課)

発行日：2019年3月1日

住所：〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀

電話：0242-37-2515 (FAX0242-37-2526)

URL：http://www.u-aizu.ac.jp



学長あいさつ 「威張る」ということ

会津大学長
岡 隆 一

数学者の志村五郎さんは、いろいろ人から威張られたことがあるようで、「威張ることは小さな悪」であると言っています。世の中には威張りたいたい人もいますし、威張られる人もいて、それなりに世間の色合いをつくっています。これに関心でいればいいのですが、いろいろ揉め事が起こります。以前、ある大臣が、ある県を訪問した時、その県の知事が遅れて来たので、大臣が大変立腹して、騒動になったことがありました。大臣がそのとき威張ったのは、心理学の専門家から「それは典型的なマウンティングである」と評されたものです。ここで、マウンティングとは、辞書によると、「人付き合いの中で何事につけても相手をそれとなく貶め、自分が優位に立とうとする行為や性向である」と定義されています。

「威張る」ことが発生すると、良好な人間関係が築けなくなるということが問題です。このことは、権威と権力というものにも関係しているようです。権威とは、E.H.フロムによると、なにか周りの人の役に立つことができることによって生じるもので、当人はそれが認められることを強要しないし、その必要もないということです。能力が発揮できたことで、当人は十分満足できます。たとえば、町内会のもめ事をいつもうまく解決できるひと、難しい手術を簡単にやってくれる

外科医などが権威者の例です。まわりの人は、そのありがたみから、当事者が求めているなくても、尊敬します。権威についてはほとんど揉め事が起こりません。

一方、権力は、何かの法的な理由や、暴力に裏付けされて発生するもので、他人にありがたみを与えるという能力とは普通関連づいていません。ただ、権力は、社会における軍を含む官僚制の発生に伴う必然であったと言えると思います。もちろん、その権力を持つ人は、職制により組織や人に命令ができ、これによって社会を良くするという場合、権力は良い方向に発揮することもできます。しかし、そうでない場合が起きがちといえます。そのために、憲法は権力を抑制するために存在します。

権力が与えられる資格のない人は、自分が権力をもつ根拠の弱さによる不安から、その確認のために、権力の存在の認識を他人に強制する傾向も生じます。この精神の構えが「威張り」としてでてきます。はた迷惑であり、正常な人間関係を拒否する態度となり、不快感を与えます。これが志村さんのいう「小さな悪」ということですね。特に、相手が自分を権力者であると知らない場合は、「威張って」、あるいは、「偉そうな素振り」をみせる必要があると思う情けない人も世にはいます。逆に、一般に権力者は威張る傾向があるので、威張ってみせれば、自分が実際は権力者ではなくても、権力者であると、錯覚させることができると思う人もいます。

様々な意味で、威張りはその人間の弱さの表明であるといえますね。従って、同情をもって対応するしかないのかも知れません。

2019年度 後援会事業予定

通 年	新入生クラス活動支援事業	7月	学生会・学園祭実行委員会への助成
	就職活動交通費・宿泊費補助事業	8月	後援会だより42号発行
	ボランティア活動費補助事業	10月	秋期情報処理技術者試験送迎バス運行
	スキルアップ奨励金事業	10月12日	第2回後援会役員会
	朝食定期券補助事業		大学報告会・相談会・懇親会
4月2日	2019年度後援会総会および 第1回後援会役員会	3月	後援会だより43号発行
4月3、4日	新入生宿泊オリエンテーション経費支援	3月19日	第3回後援会役員会
4月21日	春期情報処理技術者試験送迎バス運行		卒業記念パーティ

※上記はあくまでも予定であり、時期や内容等は変更になる可能性があります

2018年度 後援会事業報告

会津大学後援会では、学生の健全で快適な学生生活を支援するため、福利厚生事業、学生会・学園祭実行委員会への助成、就職活動支援など様々な事業を実施しており、本年度は下記のとおり事業を行いました。

1 スキルアップ奨励事業

学生のコンピュータの専門知識及び語学力の向上を図るため、情報処理技術者試験の合格者及びTOEIC等の語学試験の高得点獲得者に奨励金を支給しています。2019年1月31日現在における本年度分該当者は次の方々です。

〔情報処理技術者試験〕

- 応用情報技術者試験（12名：1年生（1）、2年生（2）、3年生（6）、4年生（3））
- データベーススペシャリスト（1名：4年生（1））
- 情報処理安全確保支援士（2名：2年生（1）、3年生（1））
- エンベデッドシステムスペシャリスト（1名：4年生（1））
- データベーススペシャリスト（1名：4年生（1））

〔TOEIC〕

- 600点以上（24名：1年生（12）、2年生（2）、3年生（5）、4年生（5））
- 730点以上（8名：1年生（4）、3年生（1）、4年生（3））
- 860点以上（7名：1年生（2）、3年生（2）、3年生（1）、4年生（2））

2 情報処理技術者試験送迎バス

情報処理技術者試験を受験する学生の利便を図るために、大学から試験会場である日本大学工学部（郡山市）までの送迎バスの運行を4月15日（日）（利用者数53人）、と10月21日（日）（利用者数50人）の2回行いました。

3 就職活動交通費、宿泊費補助事業

首都圏等、遠方で就職活動をすることが多くなる会津大学生に、公共交通機関の利用に伴う交通費と宿泊費を補助する就職活動交通費及び宿泊費補助事業を実施しています。2018年度は交通費が学部3・4年生 27名、宿泊費が学部3・4年生 10名から申請があり、それぞれ1人上限1万円まで補助しました。（2019年1月31日現在）

4 研修助成事業

学生の国際学会及び研修会等の参加を奨励するため、海外で開催される国際学会において研究成果を発表する学生や、国内外を問わず、

学生の指導教員が有意義と認める研修会等へ参加する学生に対し、旅費の一部を助成しました。

- 国際学会（海外）への助成 4名
- 国内学会・研修会への助成 8名（2019年1月31日現在）

5 クラス活動補助事業

教員と学生同士の日常的な結びつけを強め、常に気軽に相談し合える環境を作るため、クラス単位の活動（行事会、レクリエーション活動）に係る経費の一部を助成しました。※利用クラス数 延べ6クラス（2019年1月31日現在）

6 朝食定期券助成

学生の健全な食生活の維持と向上を目的に「朝食定期券」の購入金額の一部を食堂と協力し助成しました。多くの学生が大学で朝食をとり、講義に臨んでいます。今年度におきましては、朝食定期券を4月～1月まで一か月あたり2,500円（一食あたり約140円）で提供しました。

- 購入枚数計 843枚（助成額計 2,615,036円）

7 大学祭協賛行事

10月の蒼翔祭（大学祭）の開催に合わせて、後援会事業として保護者向けの下記事業を実施し、多くの方の参加をいただきました。

〔2018年10月6日（土）開催〕

〔会津大学報告会・保護者のための就職講演会〕

会津大学報告会では、東原恒夫学生部長から「会津大学の今」というタイトルで会津大学での教育、修学支援制度、国際交流、就職支援等について講演を行いました。また、程子学副学長より大学院進学について紹介があり、学部と大学院での学びや進路の違いについて説明しました。続いて行われた就職講演会では、会津大学の佐野キャリアデザインコーディネータより、本学における就職支援事業の紹介とこれからの支援体制についての説明の後、株式会社リクルートキャリア副編集長である多田健一氏を講師に、就職活動に関する全般的なお話と、就活生を持つ保護者からのサポートのあり方などを内容とする講演を行いました。

〔保護者のための各種相談会〕

学生部長や就職相談員等の学内関係教職員による、修学や進路、生活、心身の健康の問題に関する個別相談を行いました。

〔懇親会（同窓会と共催）〕

同日17時より、同窓会と共催で懇親会を開催しました。保護者の方はもちろん、同窓生、教職員も参加し、学生のこと、会津大学のこと等で話に花が咲き、終始和やかな会となりました。

学内ニュース

2018年度会津大学秋季入学式が行われました



2018年10月1日(月)、会津大学秋季入学式が行われました。コンピュータ理工学部には中国、ベトナム、ジンバブエの3か国から、12名が入学しました。博士前期課程にはブルンジ、中国、アメリカ、台湾、ベトナム、ナイジェリア、日本の7か国から23名、同後期課程には、中国、ベトナム、インド、日本の4か国から6名が入学しました。

「THE世界大学ランキング2019」において会津大学が601位から800位のカテゴリーにランクイン

2018年9月26日(水)に発表されたイギリスの教育専門誌Times Higher Education社による「THE世界大学ランキング2019」において、会津大学は601位から800位のカテゴリーにランクインしました。このTHE世界大学ランキング2019には、日本国内からは名だたる国立大学をはじめ103大学がランクインし、会津大学は其中で14位タイとなりました。

Rank	University	Score	Research	Teaching	Employment
601-800	Ulster University United Kingdom	17,919	18.3	8%	56.64
601-800	The University of Aizu Japan	1,185	10.5	5%	11.89
601-800	University of Vigo Spain	15,699	17.0	6%	50.50
601-800	University of Warsaw Poland	49,752	14.0	9%	65.35
601-800	Waseda University Japan	49,761	16.0	10%	37.63
601-800	University of the West of England United Kingdom	20,893	18.0	20%	53.47

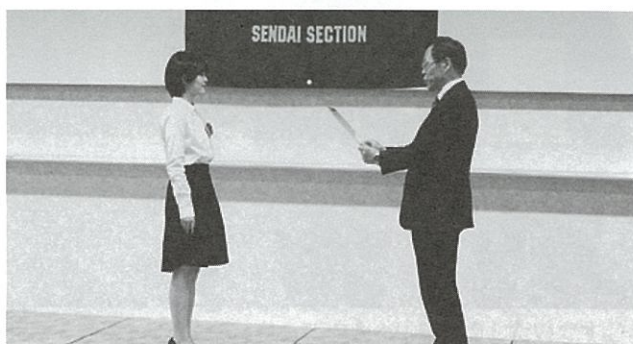
ワールドロボットチャレンジ2018(トンネル事故災害対応・復旧チャレンジ部門)優勝



2018年10月17日(水)～21日(日)まで行われた、ワールドロボットサミット2018の中のロボット競技会「ワールドロボットチャレンジ2018」において、トンネル事故災害対応・復旧チャレンジにエントリーした会津大学チーム(REL/UoA)が優勝しました。

IEEE Sendai Section Student Awards 2018 授賞式において納谷かごめさんが Best Paper Prize を受賞

2018年12月13日(木)、IEEE Sendai Section Student Awards 2018 授賞式が、東北大学電気通信研究所にて行われ、会津大学からは、納谷かごめさん(修士1年、指導教員:宮崎敏明教授)がBest Paper Prizeを受賞しました。本賞は、IEEE仙台支部が定めたものであり、英語で執筆した技術論文および発表の完成度が、投稿された論文の中で最も高かった学生に贈られるものです。



コンピュータ通信学研究室が2018年度ICTC最優秀論文賞を受賞



コンピュータ通信学研究室（CCL）による論文が、第9回ICTコンバージェンス（ICTC）国際会議（2018年度、韓国済州島開催）において、最優秀論文賞を受賞しました。

ICTC国際会議は、韓国通信情報科学学会（KICS）主催、IEEE通信学会及びIEICE通信学会協賛で開催されます。これは世界的に類を見ないトップクラスの会議で、研究者、産業界の専門家、学者が集い、情報通信技術を軸とした先端産業コンバージェンス分野における最新の開発情報の交換・普及を目指すものです。

アジア各地の大会で競技プログラミング部が活躍!!

韓国、台湾、シンガポール及び神奈川県横浜市で開催されたACM-ICPC 2018 Asia Regional Contestに本学の競技プログラミング部が出場し、トップクラスの成績を修めました。

【チーム紹介】

○チーム「UKUNICHIA」

中村 朗（学部3年） 大橋 宏紀（学部4年）
影山 琢馬（学部3年） 山口 忠正（コーチ）
渡部 有隆（コーチ）

○チーム「Return_ZUKKY」

渡部 有隆（コーチ） 安齋 和樹（学部4年）
川林 竣理（学部4年） 白井 友貴（学部3年）
山口 忠正（コーチ）

○チーム「tubuannpan」

佐藤 孝紀（学部2年） 松川 寿人（学部1年）
仲田 勝太（学部2年） 渡部 有隆（コーチ）



○チーム「koshianman」

大谷 一偉（学部1年） 守田 一喜（学部1年）
片倉 亜門（学部1年） 渡部 有隆（コーチ）

2018年度学生の選んだベスト授業賞について



2017年度に実施した学生による授業評価アンケートの結果を基に、「学生の選んだベスト授業賞（2018年度）」を選出し、教授会にて表彰式を執り行いました。本賞は、前年度に開講した学部の授業の中で、受講学生の評価が最も高かった講義を担当した教員に贈られるものです。

今年度の受賞者及び担当科目は以下のとおりです。

【受賞者名及び科目名】

受賞者名：成瀬 継太郎 教授

科目名：P04プログラミングC++（2017年度）

受賞者名：Ian Wilson 教授

科目名：E05 English for Computer

Science:Intermediate EnglishA（2017年度）

会津大学 海外派遣留学支援事業報告

〈研修報告〉阿片るみな(あがたるみな)さん 学部3年(ワイカト大学派遣プログラム：ニュージーランド)

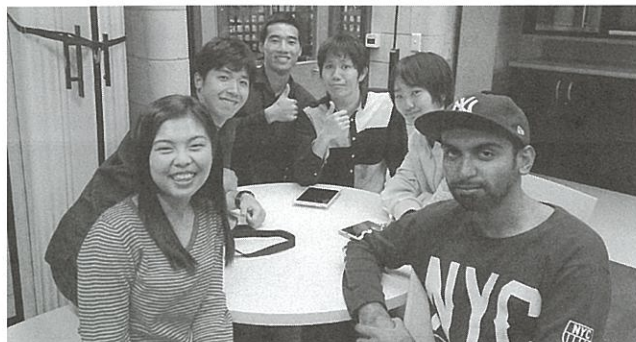
私は学部2年生の春に約3週間、ワイカト大学パスウェイカレッジに留学しました。初めの1週間は英語での会話が理解できなかったり、自分が言いたいことを伝えることができなかったりと、ニュージーランドでの生活になかなか慣れませんでした。しかし、ホストファミリーや先生、学校に通っている外国人の友人と積極的に話をすることで、ニュージーランドでの生活が楽しくなってきました。また、日本で経験したことがないこともたくさんありました。例えば、会

津大学での授業以上にクラス内でグループやペアに分かれて議論をしたり、アクティブラーニング形式の授業がとても盛んだと感じました。単語の意味がわからない時はすぐに携帯電話で調べるのではなく、先生や友達に英語で聞いた方が勉強になることも知りました。

このような経験ができ、留学に行っても良かったと思います。会津大学は英語を普段から使える環境であり、研究室等で更に機会が増えるので今後も英語を勉強していこうと思います。



【ホストファミリーとお別れの時】



【放課後の課外活動】

【2018年度海外派遣実績・予定】

	派遣期間／研修名／派遣先	派遣学生人数
海外短期派遣	2018年8月21日～9月4日 シリコンバレーインターンシップ：米国	8名
	2019年3月2日～3月24日 ワイカト大学海外短期派遣支援事業：ニュージーランド	11名
	2019年3月3日～3月24日 ローズハルマン工科大学海外派遣支援事業：米国	10名
	2019年3月4日～3月17日 「大連・福島の産学共同IT人材育成モデル」学生派遣支援事業（東軟信息学院・アルパイン株式会社：中国）	4名
海外中期派遣	2018年8月22日～2019年3月1日 ローズハルマン工科大学海外中期派遣事業（米国）	1名
	2019年1月16日～2019年8月14日 ウォータールー大学 官民協働海外支援制度 トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム（カナダ）	1名

学生作成ビデオ紹介コーナー

2014年度より始まったGlobal Experience Gatewayは、アメリカ、ニュージーランドへの短期留学プログラムです。留学という貴重な経験をさらに有意義なものにするために、参加する学生には5分程度のビデオを作成してもらい、完成したビデオはYouTubeにアップロードして、世界中の人が閲覧できるようにして

います。

下記学生のビデオが閲覧できるようになっていますので、是非ご覧ください。

■学部1年 森下 裕平さん

<https://youtu.be/P-TFTfwYBFw>



みなさん、こんにちは。2019年の春に短期留学をさせて頂くことになった、学部一年の森下です。今回の短期留学に申し込んだ理由としては、出来るだけ早いうちに海外で学びたかったからです。三週間と期間としては短いですが、日本では感じられない経験や価値観を得られることができると思いました。この留学を通して今後の自分に役立てたいと思います。

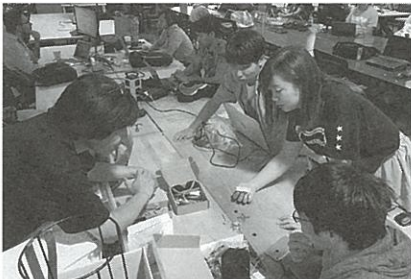
事前学習の一環として、会津大学に在学している留学生の方にインタビューをしました。インタビューをすること自体初めてでしたので、とても緊張しました。けれども、インタビュー相手になってくれたバングラデッシュ出身の彼のおかげで、楽しいインタビューになりました。ビデオを見返してみると自分の英会話にはまだまだ改善すべきところがたくさんありましたので、今後もさらに実用的な英会話ができるように今後も楽しみつつ英語を学びたいです。

留学先でもインタビューとブログを書くことになりますので、インタビューでは向こうの大学の学生の方の素を引き出せるようなインタビューをし、ブログでは留学先で驚いた出来事などを中心に書込みをしたいと思います。

また今回の留学をするにあたって協力してくれた両親や、今回の留学を企画して下さった全ての人々に感謝をしたいと思います。

インターンシップ科目について

2017年度より海外・国内・地域の3段階インターンシップ科目（課外活動コース）の整備・単位化が進んでいます。これらは入念な事前研修にてインターンシップの意義を学んだ後、現地研修で就業体験や異文化体験、メイカー精神等を学び、事後研修にてそれらを深めています。2019年度も新規の様々なインターンシップ科目が開講される予定です。

区分	インターンシップ先	実施した内容
海外	アメリカ・シリコンバレー (カリフォルニア州) 8～9月	本学のシリコンバレー拠点「ハッカー道場」にて、現地の様々な国籍のエンジニアと交流をしながら、IoT機器を開発、成果を現地のイベント会場で発表しました。  
海外	中国・大連（遼寧省） 3月（予定）	午前は協定校の大連東軟信息学院にて中国ICTビジネス事情としてマーケティングや経営戦略を学び、午後はアルパイン大連開発センターにて製造に関する評価実習に関するインターンシップを行います。（写真は2017年度）  
国内	アルパイン 9月	カーナビゲーションシステムに関するR&Dに関するインターンシップを行いました。
国内	サイバーエージェント 9月	オンラインゲームのサーバーサイドシステムを現場のチームと共に開発しました。

就職活動状況について

〔就職活動状況〕

厚生労働省が、平成31年3月大学等卒業予定者の就職内定率は87.9%（前年同期比1.9ポイント増）となり、平成9年3月卒の調査開始以降、同時期での過去最高となりました。本学においても、1月末日現在で91.7%（学部）となり、大学院博士前期課程（修士課程）の就職内定率も1月末日現在98.1%となっています。

〔2018年度会津大学就職内定率〕（2019年1月末日現在）

【学部】	進路希望	決定者
就職	民間企業	145
	(就職内定率)	90.3%
	教員	5
	公務員・団体等	3
	起業・家業	0
合 計	153	135

	進路希望	決定者
進学	本学大学院	34
	他の大学院	2
	海外の大学院	0
	合 計	36
		25

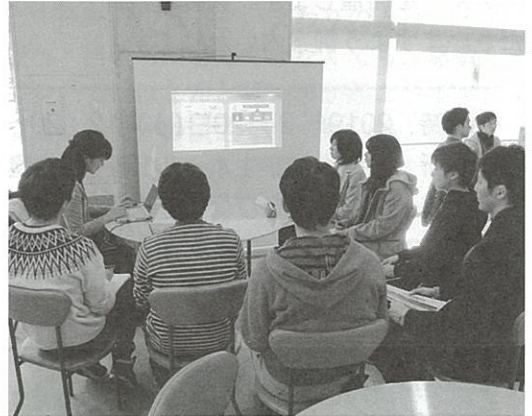
【修士】		進路希望	決定者
就職	民間企業	54	53
	(就職内定率)	98.1%	
	教員	0	0
	公務員・団体等	0	0
	起業・家業	0	0
合 計		54	53

		進路希望	決定者
進学	本学大学院	7	6
	他の大学院	0	0
	海外の大学院	0	0
	合 計	7	6

【学内合同企業説明会・業界研究会】

2019年度卒業予定者向けの学内での合同企業説明会は、3月5日から8日の計4日間で実施されました。通常、学生は交通費をかけて首都圏等で行われる企業説明会に参加しなければならないところ、首都圏をはじめとする様々な地方から企業の人事担当者が会津大学まで足を運び、学生に企業の説明をしています。2019年度卒業予定者対象の合同説明会は、優良企業を中心に120社程度の企業に参加いただきました。

このほか、企業やその業界について理解を深める業界研究会を11月から2月にかけて開催し、企業が個別に説明会を実施する個別企業説明会も3月以降、随時開催する予定となっております。



学生相談室から

大学生生活の4年間は、子供でもなく大人でもない、社会的にあいまいな時期です。モラトリアム(猶予期間)と表現されることもありますね。在学生表彰やサークル活動報告などで華々しい活躍の様子が知られる学生さんの一方で、親御さんの目から見れば、何もしていない、何の進展もない、無駄な時間を過ごしているように思える学生さんかもしれません。しかし、学業を修める・課外活動をする・人脈を広げるという目に見える取り組み以外にも、この時期だからこそ取り組むべき発達課題があります。

発達心理学者のエリクソンは、「大人になるために解決しなければならない発達上の課題」として「アイデンティティの達成」を挙げています。アイデンティティの達成とは、「①自己の多様性を認めつつ、しかし根源的に自分はこの世にたった一人の固有な存在であり、②現実の社会集団に属して、自他ともに受け入れられており、③現在・過去・未来という時間の中で自分が連続しているという自己の一貫性と時間的連続性の感覚を持っていること」と記されています。大学生生活というモラトリアム期間を有効活用して、「自分とは…」「本当は何をしたいのか…」と内省する水面下での戦いに取り組むことも、人間の成長にとって大変意義のあることです。

では、アイデンティティの達成、に至るためには

どのような取り組みが必要なのでしょうか。「自分とは何者か」「本当の自分は何か」「自分らしく生きるとはどういうことか」と悩む「実際の危機」を体験する中で、人生の重要な領域に「積極的に関与すること」が必要不可欠であると言われてしています。

先日相談にいらっしゃった学生さんは、「高校までは先生や親の言いつけを守って生きてきたのに、急に自分で選べと言われても困る」と話してくださいました。この、今までのやり方が崩れたことによる困惑、こそが「実際の危機」であり、自分なりの答えを見つける旅の始まりです。その方は自分なりの答えを見つけて相談室を巣立っていかれましたが、どのくらいで見つかるかは人それぞれです。「卒業までに」と期限を決める必要は全くありません。どれだけ真剣に悩み、いろいろな可能性を実際に考えたかが重要です。

新しい文化との出会いが視野を広げることもあるでしょうし、じっくりと人に話を聞いてもらうことが、この苦しい旅を続ける原動力になるかもしれません。危機を乗り越えて確立したアイデンティティは、社会に出てからまた訪れる悩み、苦しみ、人生の危機に対して、主体的に立ち向かえる土台になっていくことでしょう。失敗や葛藤を繰り返しながら自ら答えを見つけることに意味があると信じ、一緒に暖かく見守っていきましょう。

学生相談室

非常勤カウンセラー 吉澤小百合 電話：0242-37-2610

メール：counseling@u-aizu.ac.jp URL：http://www.u-aizu.ac.jp/campus/support/sco/

後援会事務局からのお知らせ

〔卒業記念パーティー〕

本年度の学位記授与式が3月20日(水)午前10時から講堂で行われます。後援会では、卒業をお祝いするとともに、これまで指導いただいた教員の方々への感謝を込めて卒業記念パーティーを開催します。保護者の皆さまには、ぜひ御出席くださいますよう御案内いたします。

- 日時 2019年3月20日(水) 12:20～
- 場所 会津大学学生ホール1階 学生食堂
- 会費 卒業学生及び保護者ともに無料



学生課からのお知らせ

〔卒業記念アルバム〕

卒業アルバムは、(株)メディア出版新潟支社が作成し、直接予約を受け販売しています。詳細につきましては、同封いたしました案内にてご確認をお願いいたします。

〔成績表の保護者への送付〕

学生課では、保護者の皆さまへ1年間の成績表を、毎年3月中にお送りしています。4月上旬までに届かない場合は、学生課教務係にお問い合わせください。

(教務係 電話：0242-37-2600)

〔転居等による住所の変更〕

保護者あての送付物が「転居先不明」で戻ってくる事例が多く見受けられます。転居等で住所が変更になった場合は、学生課に「保護者住所変更届」をご提出くださいますようお願いいたします。

(学生支援係 電話：0242-37-2515)

2019年度会津大学教務日程 (予定)

在学生履修登録期間	3月5～8日	在学生履修登録期間	9月2～4日
入学式	4月2日	後期(3・4学期)授業開始	10月2日
新入生オリエンテーション	4月3～5日	蒼翔祭	10月12、13日
健康診断	4月5日	3学期試験	11月27日～12月3日
前期(1・2学期)授業開始	4月8日	4学期試験	2月7～14日
内科検診	5月15、22日	冬季休業	12月24日～1月3日
1学期試験	6月6～12日	卒業論文発表会	2月17、18日
2学期試験	8月5～9日	春季休業	3月1～31日
夏季休業	8月10日～9月30日	学位記授与式	3月19日
オープンキャンパス	8月11日		